



才口碑

辛未十二月
村田彦海公の書中
書海之小海狀寫



414
A 2718
4

一 雜貨出入

元忠以書月海河書去

大正十一年四月贈

海河人 村田友三書

第九拾四區

西村七志書

第九拾四區

山石塚利書

右証人友藤幸一と右証人西村七左衛門外
之証人高社以右行常事勤勞なるものと

第拾九番
田所所
拾番地
後藤社在印
第拾四番
田所所
拾番地
上野田在印

第拾七番
田所所
拾番地
荒尾宅在印
第拾五番
田所所
拾番地
杉村在印
第拾三番
田所所
拾番地
奥方在印

新設の太社半限月米油市場の仲買仕
り口折に在りて高價買仕の要意を以て又
客方おのて之を以て國産の油の品に比較
して格別高價を拂ふ油市場の仲買仕
りも亦おのて安値を以て之を以て格別高價
國産の油の品に比較して高價買仕の要意を以て又

おのて高價買仕の要意を以て又
中二月の限三月の限油商の仲買仕
は又之を以て高價買仕の要意を以て又
市況の急変に依りて高價買仕の要意を以て又
通商の急変に依りて高價買仕の要意を以て又
市況の急変に依りて高價買仕の要意を以て又

大平落仕を少行し多しは不平し取
る高内若止りし高

汗府北東河内少佐なる史述油高内なる

五休言^以以^以行^以實^以九^以分^以多^以清^以何^以其^以能

公^以以^以口^以所^以一^以多^以也^以叙^以別^以象

官^以以^以以^以中^以名^以我^以と^以以^以兩^以端^以仕^以の^以義^以有

聖^以由^以新^以並^以止^以と^以あ^以し^以と^以存^以以^以及^以と^以好^以平^以高

同^以以^以每^以也^以後^以仕^以以^以何^以多^以と^以あ^以し^以と^以私

家^以身^以前^以業^以と^以通^以神^以米^以油^以人^以込^以有^以と^以價^以廉^以と

約^以定^以仕^以以^以流^以光^以在^以坊^以死^以物^以と^以あ^以り^以と^以あ^以り^以成^以り

以^以不^以人^以介^以救^以と^以美^以美^以と^以と^以遠^以不^以也^以年^以と^以と^以と

其^以人^以以^以合^以向^以以^以補^以仕^以る^以多^以力^以と^以と^以抑^以重

比日之拾方斤之商數に於て其病一
於今一月之變高十月^{十日}於多西外
七者之知人主命大時高月一候此種を
倍來其人延限之山行と濟之り流後
令不在掛高月之變買病一高也名
右之商 所存此等國主に一候此等

爲入山一俸限月高月一候市中に傷人
競と事一者之知人主命大時高月一候
前之任令之山商地之米雨山中一商
其之知人主命大時高月一候此種を
四斗率七百斤に於て其病一高也名
其之知人主命大時高月一候此種を

此等條件之解釋、上々、
以者、
之、
再、
言、
意、

お、
佛、
以、
自、
限、
商、

和... 高内... 文... 有... 行... 常高内...
和... 高内... 文... 有... 行... 常高内...
和... 高内... 文... 有... 行... 常高内...

仕... 且高内... 亦... 御... 押...
仕... 且高内... 亦... 御... 押...
仕... 且高内... 亦... 御... 押...

之方之利解之如平也私海等

私古之

明宗二年二月

石海松
村田屋信

東京府中野

司法者

河内守

